

## コミュニティ・スクールを設置する市区町村教育委員会からの主な意見の概要

### ○理念・目的について

- ・「新しい公共」や「新しい公共」型学校の概念や位置付けを明確にすべき。
- ・「新しい公共」型学校の趣旨・目的を教職員が理解できるようにすることが必要。
- ・地域再生は学校が取り組むべき目標なのか疑問。学校教育を良くするという目的をもっと強く出すべき。
- ・社会全体の問題について、学校がやるべきことをやっていないという印象を与える表現は避けるべき。
- ・地域施設の活用の方が効果がある地域もあるので、学校施設に限定するべきではない。
- ・子どもを中心に据えた連携の在り方の再構築が必要。
- ・「新しい公共」型学校は地域再生のためのシステムの選択肢のひとつとして位置付けるべきであり、実際にどのシステムを選択するかは地域の判断に委ねるべき。

### ○学校現場にとってのメリット・負担について

- ・新しい取組が学校の負担増につながらないようにすべき。地域再生のために教職員の負担が増加し、子どもと向き合う時間が減ってしまえば本末転倒。
- ・新しい取組が学校にとってどのようなメリットがあるのかを強調すべき。

### ○その他

- ・これまでの取組の成果や課題等、現状についての分析が必要。
- ・ICTの活用は広域的な対応が必要となり、地域密着とはならないのではないか。
- ・行政内部での所掌を越えた連携が重要。



「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:岩泉町教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	学校と地域で熟議し、その結果を学校運営に反映させる関係づくり
ご意見	「新しい公共」型学校に向けて、学校(校長、教職員)の役割が重要であることから、これらに対応できるよう、「新しい公共」型学校の創造の趣旨・目的を教職員が理解し実践できる方法を構築する必要がある。

「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:伊勢崎市教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素
ご意見	研究開発校や特例校以外であっても、学習指導要領に定められた教科・領域の内容を、地域の実態や地域住民の意見が反映できるように、一定限度に限って弾力化した取り組みができるようにする。

「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:新宿区教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	3ページ「教育委員会が…プラスに評価していく」 4ページ「教育委員会の方針や、地域住民等の…」
ご意見	・上記の部分について、理解できない。

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	「新しい公共」型学校の理念の「地域」という文言について
ご意見	・「地域」のとらえ方が一般的なものでなく、「NPO」、「福祉関係部局」など広くとらえすぎているのではないか ・学校の協働先は、広範多岐にわたっている。一方で、小中学生の生活圏としての地域があるのではないかと考える。

(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	6ページ(2)基本的な要素について
ご意見	・「外部からの人材登用を含む」とあるが、どのような人材を、どこに配置することを想定しているのかが分かりづらい ・外部人材の登用に関する経費、多忙な教員(特に副校長)が熟議等に係ることができる条件整備が必要である。

「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名: 小平市教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	4ページ 8行目から10行目
ご意見	将来に渡って継続できる仕組みづくりは必要であるが、仕組みづくりのために必要なものが実質の経費ではなく、謝金であるというような唐突な表現であると感じる。

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	

# 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名： 神奈川県開成町教育委員会

## 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

## 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

## 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

### (1) 「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

### (2) 「新しい公共」型学校の基本的な要素

### (3) 「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	<p>「新しい公共」型学校への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域との協働による学校づくりに関しては、現在の学校が抱える様々な課題の解決のためには不可欠の要素と考えるので、「新しい公共」型学校の構想は理解できる。</li> <li>○ ただし、この新しい構想は、地域再生のためのシステムの一つとして位置づけておくことが必要であり、このシステムのみで地域再生を図ることは無理である。</li> </ul> <p>現在、開成町には、地域コミュニティのシステムとして、自治会が機能しており、この自治会活動を通じて、子どもたちは地域の中で生かされている。地域の実情は様々であり、地域再生のためにどのシステムを活用するかは地域の判断に委ねることが必要であると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しいシステムを導入する場合には、これまで実施してきた学校運営協議会、学校支援地域本部事業等を活かしたシステム作りをお願いしたい。また、これまで成果のでているシステムを廃止して、全く新しいシステムを導入することは、学校現場等に混乱が生じかねない。引き続きこれまでのシステムを活用する学校等に対しても、国はこれまでと同様の理解と支援をお願いしたい。</li> <li>○ 新しいシステムの導入によって、学校の負担が増えるということのないようお願いしたい。これまでのシステムは、教職員の負担を軽減し、教員の子どもに向き合う時間を確保することが導入のねらいのひとつであったはずであり、地域再生の目的のために、教職員の負担が増加することになれば本末転倒といわざるをえない。</li> </ul>

## 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:新潟県聖籠町教育委員会

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	一つ目と二つ目の内容について
ご意見	「新しい公共」型学校づくりを教員や行政だけでなく保護者や地域住民と一体となって進めるには、学校現場の置かれた状況をもっと明確に示すことが不可欠。たとえば、発達障害のある児童生徒への早期対応ときめ細かな指導(個別の指導計画や教育支援計画の作成による指導の充実)に疲弊している教職員、2次障害がみられる児童・生徒へのきめ細かな指導体制が不十分なために起こる不登校や問題行動、学力の低下等と問題行動等の主たる要因が家庭や保護者の養育にあり、学校だけでは解決できにくい状況にあること、さらには、小学校でのスタートカリキュラム、中1ギャップの解消、小学校における外国語教育の導入、中学校における部活動の奨励による教職員の慢性的疲弊状況、モンスターペアレント等への対応による教職員の心労など、これまでの学校制度では対応が難しくなっています。これらの現状認識を共有しないと始まらないのではないのでしょうか。とりわけ、学校現場の理解を得て進める上では大切かと思えます。(外からの視点と内からの視点で述べることで、学校の閉鎖性を打破することにつながる。)

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	②課題の一つ目
ご意見	「学校が課題を抱え込み……意識が薄い……」は事実ですが、意識が薄いのではなく、「学校が課題を保護者や地域に説明したり伝えたりすることが必ずしも十分ではない」というのが実態ではないのでしょうか。学校評議員制度や学校評価制度、PTA組織などを効果的に運用する技術(学校文化、校長のマネジメント力)などが学校現場に定着していないことにもよると考えられます。このとらえからすれば、「新しい公共」型学校づくりでなくても、地域と連携した学校づくりはできることになるのではないのでしょうか。学校運営協議会を設置していない教育委員会あるいは校長からも詳しく事情を聞くなど、多様な地域事情や学校事情を考慮して進めることがいいのではないのでしょうか。

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	5ページ・(1)「新しい公共」型学校の視点①、ねらいに学校からの視点も加える
ご意見	たとえば、「学校の要望あるいは課題を解決するために協力をお願いしたいことを保護者や地域に伝える組織・システムの構築」など、保護者や地域及び学校(行政)の双方向から「新しい公共」型の学校をつくるという視点が必要ではないのでしょうか。

#### (2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージの二つ目・平成23年度(2011)～に加える
ご意見	たとえば、学校運営協議会を設置していない地域(首町部局・市町村教育委員会・学校など)も抽出し、設置しない(できない)理由・設置するまでにどんな障害があるか等を把握し、推進策を考える。



## 「新しい公共」型学校の想像について（たたき台）に対する意見

長野県飯山市教育委員会

### 1 「新しい公共」型学校のねらい（1ページ）

意見のある箇所	ねらいの○1番目の文と3番目の文
<p>・○1番目の文は、「<u>少子高齢化・情報化・・・・</u>」は、日本の社会全体が直面している問題で、<u>その中で教育や学校がその変化に伴う幾つもの問題を抱えたり、多様な役割を求められたりしている状況を述べる必要を感じる。</u>「新しい公共」という言葉は、教育だけでなく社会全般における行政と民間の役割の在り方を問う新しい概念だと思う。この考え方を教育へ持ち込む意味を導くためには、現在の社会情勢と教育との関係をもう少し触れておく必要を感じる。</p> <p>・○の3番目の文と4番目の文を多少直して入れ替えた方が、「新しい公共」という意味合いからすると落ち着くように思うし、5番目の文へのつながりも良いように感じる。<u>すなわち地域住民が自らの手で新しい地域社会を創り出す一環として、学校を「協働の場」として活動することが、「新しい公共」の住民意識を育てることであり、より良い教育や学校のあり方をも導くことにも繋がると考えたい。学校教育の立場からだけで「新しい公共」を進めようとしても理解を得られない。</u></p>	

### 2 地域と連携した学校づくりの現状と課題（2～4ページ）

意見のある箇所	○ 地域と連携した学校作りの成果と課題の②の課題の6番目の「 <u>運営協議会の運営費やコーディネーターの謝金の問題。将来に渡って継続できる仕組みが必要。</u> 」の文
<p>・上の文に加えて地域や学校の自らの課題として、<u>地域や保護者が労力や必要によっては費用も出していこうとする意識の醸成が必要との内容を加えたい。</u>勿論運営協議会の運営費やコーディネーターの謝金など費用の最低の保障は必要だと思う。それとともに自治体も関係諸団体も補助金があるから取り組むという長い間に習慣化した意識を払拭する努力をしていかないと、補助金がなくなるとすぐに事業が終わるということになりかねない。最低の費用の予算化とともに、「新しい公共」という概念をしっかりと定着させる努力が必要である。財政の厳しい市町村では、この費用を支援しようと予算を要求すると、財政当局者から国や県からの補助金がないものは取り組む必要があるのかと問われることが常々ある。</p>	

## 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

**教育委員会名: 岐阜県多治見市教育委員会**

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	1:「学校を良くする」また、「良い学校」について。2:地域基盤について。
ご意見	1:「良い学校」の定義なり、イメージなりを明確にしたい。学校は児童生徒の教育のためにある。とすれば、「良い学校」とは、児童生徒にとって良い学校であり、児童生徒により良く教育がされている学校である。それが、「学校の問題は地域の問題」という意識のもと、自分たちの地域も良くすることにつながることを期待する。2:地域基盤は強固なものであるとは限らないというのが、現状である。地域意識が薄れてきている現在、地域が学校を軸にしてまとまることは、意義深いものである。

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	1:「地域との連携の促進に向けた意識改革につながっている」ことについて。2:学校の負担について。3:好事例が広がらないことについて。4:支援組織
ご意見	1:校長は、児童生徒は学校だけで育てている(育てられている)のではない、という意識を強く持つことが必要。2:学校の負担が増大する仕組みであってはならない。地域教育教員といった形の加配が必要と考える。3:本課題に限らず日本の教育界には、他で成果を収めたところの、いいものを取り入れようとする気風が弱い傾向にある。4:NPO法人化がポイントであると思う。当多治見市には、PTAから出発したNPO組織が一つあり、地域の幼保小中の一貫教育を支えている。

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	1:視点について 2:「教育を良くする」「より良い教育」の中身について
ご意見	1:「ねらい」については大いに賛同するもの。以前、「校長はコミュニティスクールのマスターとなり得るか」という考えを聞いたことがある。学校が地域から支えられるだけでなく、地域を支えることができれば、素晴らしいことである。しかしながら、在籍する児童生徒が良くならなければ、本末転倒である。2:前述とも関連するが、現在の教育のどこが問題で、それをどうしようとするのか、を明確にする必要がある。「新しい公共」に取り組む方々のモチベーションにもかかわる。

#### (2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	1:基本的な要素について 2:創造と展開に向けた計画のイメージについて 3:その他
ご意見	1:最終的には「人」の問題。地域の方も、仕事・生活のある中で学校にかかわるとなれば、時間的にも余裕のある人に限定されてくる。地域の人材(また人財)が生きる仕組みを考えたい。2:学校評議員制度の成果と課題の整理が必要。学校評議員制度を合議制にするだけでも、その存在意義が大きくなる。また、学校運営協議会と、学校支援地域本部の整理が必要。3:学校は、新しい組織がつけられる、また、変革を嫌うという面がある。それに対するエネルギーが大だからである。それをどう克服するかも課題。

## 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対する意見

教育委員会名: 三重県 津市教育委員会

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

意見のある箇所	
意見	

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

意見のある箇所	○地域と連携した学校づくりの成果と課題 ②課題
意見	学校支援地域本部事業が2,528地域と広く全国に広がっていることに比べ、コミュニティ・スクールが629校に留まっているのは何故かを対比して明らかにする必要がある。

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1)「新しい公共」型学校の理念

意見のある箇所	
意見	

#### (2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

意見のある箇所	
意見	

## 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名：京都市教育委員会

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	1つめの○「学校だけで子どもたちの抱える多様な問題に対処するのは難しくなっている」
ご意見	原案では、本来学校がすべきことを、学校がやりきれていないとの印象を与えるため、「本来、保護者や地域住民を含め、社会全体で取り組むべき問題まで、学校に期待されているため、学校だけで多様な問題に対処するのは難しくなっている。」というような文面に変更すべき。

ご意見のある箇所	2つめの○「生み出していく力が求められており、学校以外の関係者の協力が必要となっている」
ご意見	上記と同じ理由から、「生み出していく力が求められているが、こうした力を育てていくためには、学校・家庭・地域をはじめとする学校以外の関係者の協力も必要となっている。」というような文面に変更すべき。

ご意見のある箇所	4つめの○「学校や教育を教員や行政に任せるのではなく…から末尾まで」
ご意見	『子どもたちへの教育に対する関わりを高めていくことが必要であり、「地域の学校は自分たちの学校」さらには「地域の子どもたちは自分の子ども」という意識を持って、地域ぐるみで教育を進める姿勢に転じていくことが期待される。』に変更。

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	課題5つめの・「良い学校」
ご意見	「良い学校」を削除し、「良い教育」に変更。

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1) 「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	(1)①「学区内の小中連携による取組」に追加
ご意見	『「学区内の小中連携による取組」や、「保幼と小中の接続の視点」さらには、「インクルーシブな地域社会の構築といった視点」など、一つの学校にとどまらない視点が重要。』

#### (2) 「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3) 「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	

「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:久御山町教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	③放課後子ども教室
ご意見	余裕教室等の活用に加えて、地域には自治公民館や集会所等がある「地域の子どもは地域で育てる」ことを視点に考えると、学校施設に限定することに本町では無理がある。むしろ本町では、地域施設を利用した活動により、地域住民の絆は深くなっている。

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	(3)「新しい公共」型学校の創造と発展に向けた計画のイメージ
ご意見	社会的経済的環境の厳しい(就学援助率の高い)地域も開発研究の対象に入れていただければ大変参考になると考えています。

## 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名： 島根県出雲市教育委員会

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	課題(というより感じていること)
ご意見	<p>①学校運営協議会に関し、都道府県教委の積極性がないように感じています。</p> <p>②「新しい公共型」学校を目指す上でのキーマンの一人である学校教職員にも、積極的に地域と関わっていこうとする姿勢がみられません。都道府県教委のスタンスが影響しているのかもしれませんが。</p> <p>「新しい公共型」学校に関わる者を、広義の地域住民、児童生徒・保護者、行政機関、教職員とした場合、唯一地域住民でないのが教職員です。終日校内で過ごすのではなく、時には、チョークをもって学校を飛び出し、地域に飛び込む教職員像が望まれます。そういった意味からも、都道府県教委から地方教委への教職員の人事権の移譲について、積極的に進めていただきますようお願いいたします。</p> <p>③本部事業を実践していくようになってから、PTAの主体的な活動が少なくなり、存在感が薄れてきているように感じられます。社会教育関係団体としてのPTAであることから、学校教育への関わりは自ずと節度と距離感が求められているとは思いますが、家庭教育、青少年育成などを通じて学校を側面的にサポートしてもらえればと思います。</p>

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	「新しい公共型」学校の視点
ご意見	<p>確かに、今日の学校は疲弊し、弱いものの代名詞のようにいわれています。しかし、学制が施行されて以来、学校は、常に新たな文化・価値観を国民に発信し続けてきました。その成果として国民の規範意識は高まり、生活が向上するなど、国民の福祉増進と日本国の発展に大きく寄与してきました。今こそ優しくて強いかつての学校の復活が求められているときはありません。</p> <p>したがって、問題解決型というより、よりアグレッシブで創造的なイメージをもって、「新しい公共型」学校を目指すこととし、地域からの支援を受けるばかりでなく、学校が持つ資源(児童生徒、教職員、施設)を活かした、たとえば地域の教育、文化、産業、福祉、環境など様々な切り口での学校発の取組を通じて、学校が地域づくりの先頭に立ち、貢献していくべきではないかと思えます。</p>

#### (2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	

## 『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:早島町教育委員会

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	(1)○の2番、(2)○の3番
ご意見	<p>(1)コーディネーターの確保 学校以外の関係者の協力とあるが、単に学校に協力するだけでは、新たな価値を生み出していけないと思う。そのための人材発掘が必要である。大所高所から学校を見ることができ、人の心を動かし尊敬できる人材を切に望むところである。</p> <p>(2)「新しい公共」について、漠然とはわかりますが、保護者、地域住民の教育力を高めないと公共性も育っていかないと思う。地域住民が学校に向き、学校も地域へどう働きかけるかなど全体の資質をあげないと烏合の衆になってしまう。</p>

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	全体の中で
ご意見	<p>本町は、小・中学校に「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」と小学校で「放課後子ども教室」の事業を実施している。学力の面では、全国的に高いレベルの県では、教員の資質の向上、その教員をほめ、支える保護者や地域住民があり、それを見ている児童・生徒は自ずと学習に励む。もうひとつは、政策に対して行政がいかにお金を出すかであると言われている。これは正に学校と地域と行政の一体化ではないかと思う。今後この体制や方策を探っていきたい。</p>

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

#### (2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	



「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:山口県周南市教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	全体的に
ご意見	・「新しい公共」とは何か、説明が必要ではないか。

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	ページ3 ②課題
ご意見	・学校、家庭、地域のつながりをより一層充実させるため、それぞれの役割を再確認した上で、子どもを中心に据えた互いのつながり、連携の在り方を再構成することが必要ではないか。

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	なし

(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素
ご意見	・⑦として地域、企業との協働による地域住民の学校活動への参加時間の確保に対する取組を加えてはどうか。 ・戦略的なマネジメントに包括されると思うが、学校と地域をつなぐ人あるいは仕組みを推進していく人材の育成という視点が必要ではないか。

## 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

**教育委員会名:山口県美祿市教育委員会**

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	○このような学校と地域との新たな関係は～以降の文章について
ご意見	この段で「新たな関係」の創出には学校にとって「地域から積極的な支援が得られる」というメリットがあることなどを明記してはどうか。 (例文)…新たな関係は、「学校にとって地域から積極的な支援が得られるとともに、地域の大人にとっても、生き甲斐や生涯学習の機会ともなり、社会参加・社会参画を促進し、」…社会的な絆の…

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	②課題 ・教育委員会の方針や、地域住民等の遠慮や抵抗感などを背景として～ ○地域(コミュニティ)の現状と課題 ・今後地域への参画が望まれる団塊世代の住民～
「ご意見	②について 教育委員会の支援不足や、地域住民等の遠慮や負担感などを背景として」という表現は疑問である。教育委員会の「方針」という明確な主張は不適切であり、地域住民等の「抵抗感」という拒否感の度合いの強い語句は避けた方が良いのではないか。 学校と地域をつなぐ専属のコーディネーターの養成・活用が必要ではないか。(文例…「新しい公共型学校では、地域との連携やボランティア等の活用等で中心的な役割を担う専属のコーディネーターを、既存の教職員とは別枠(教職員でない者で可)で確保することが必要。」) 「コーディネーターへの謝金など継続するための費用負担の問題。」とあるが、学校ボランティアに対する保険の確保が必要であることも明記してほしい。 ○について 団塊世代に付け加えて、「PTA等の若い世代の住民」も入れてはどうか。

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	○「新しい公共」型学校には、以下の点が求められる。 ①【幅広いネットワークを活かした充実した教育の場の提供の視点】
ご意見	①について 【幅広いネットワークを活かし学校教育を充実させる視点】とし「教育の場の提供」は省略した方が分かりよいのでは。(分かり難い表現)

#### (2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
「ご意見	

「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名: 高知県 黒潮町

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	①成果と②課題に共通して
ご意見	成果として「地域住民が学校を支援することにより、教員が授業や生徒指導に、より力を注ぐことが出来た」との回答が4割しかないというのは、結果的に取り組みが学校の負担増につながっていることも考えられる。負担増とならないような取り組みをいかに進めていくか難しい課題だと思う。また、将来にわたって継続していくための費用負担は課題となる。

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1)「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

(2)「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3)「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	

「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名: 春日市教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1) 「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	⑥ ICTの活用などによる
ご意見	ICT活用となると広域的な対応と想定するが、間接的な連携をイメージするような例示は好ましくないと思う。地域密着を展望するコミュニティ・スクールにおいては、「ICTの活用などによる」よりも「ふれあいを通しての」などの表記の方が適当であると感じる。

(2) 「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3) 「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	

「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名: 佐賀市教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	(ア)『新しい公共』型学校の定義 (イ)5項目、6項目について
ご意見	(ア)『新しい公共』型学校＝コミュニティ・スクールとするのか。この位置づけが明確でないため、読み手が理解しにくい。「新しい公共」型学校の像を明確にすべきではと考える。 (イ)「ねらい」とは目標なのか。また、5項目『自分たちの学校』を良くする』→『活気のある社会が実現』、6項目『このような学校と地域との新たな関係』→『(ネットワーク)の再生』と論旨が展開しているが、学校のねらい(目標)というよりも、社会・街づくりのねらいの色合いが強い印象を受ける。副次的・発展的に社会・街づくりにつながることは理解できるが、5～6項目は学校のねらいであるか疑問がある。

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	(ア)P3②1項目『学校側は課題を抱え込み…』 (イ)P3②2項目『役割の分担』『工夫』 (ウ)P3②3項目『評価』 (エ)P4 2項目『教育委員会の方針…学校運営協議会の本来の役割が十分に発揮されていない状況』 (オ)P4 3項目(例:設置者による支援、基金の設置) (カ)P4 5項目(地域ぐるみの取組が長期的に行われるために) (キ)P4②課題の追加
ご意見	(ア)『学校側は課題を抱え込み地域との連携を重視する意識が薄い』→全国的に意識が薄いという特徴があるのか。学校評議員制度が取り入れられて10年が経過しようとしている現在では、印象として違和感がある。 (イ)『役割分担』→家庭・地域・学校の役割分担を明確にして、共同で学校づくりに当てることはできる。記述の中では軌道に乗るまでは、学校が両方を担うように受け取れるが、いかがなものか。上記1ページの指摘事項と関連するが、学校の多忙化対策で教育活動のスリム化も目指している中で、社会・街づくり役割を学校が担うのは厳しいのではないか。 『工夫』→工夫とは具体的に何を指すのか。 (ウ)『評価』→佐賀市では1中学校区の取組を市全体に広げて取り組んでいる。このようなことはどこも行っていると思われるが、ここでいう、『評価』は別の意味があるのか。 (エ)P4 2項目→発揮されていない状況の例示を記述してはどうか。 (オ)P4 3項目→国の予算で地方への交付金(補助金)を上積み等の可能性はあるか。 (カ)P4 5項目→『長期的に行われるため』ではなく、『子どもの育ちを保証するため』に小学校と中学校の連携を行うのではないか。 (キ)地域連携コーディネーターの役割を行う教員の不足を課題として挙げ、恒常的配置のための工夫を明記して欲しい。

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1) 「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	(ア) P5(1)「新しい公共型学校の理念」 (イ) P5②【大人の生涯学習の場としての視点】 (ウ) P6③【学校を拠点とした地域づくりの視点】
「意見	(ア) 前記1ページと関連するが、『とともに、地域を活性化させる』は学校の理念であろうか。 (イ) 前記1ページと関連するが、『【大人の生涯学習の場としての視点】』は学校の視点であろうか。 (ウ) 前記1ページと関連するが、『【学校を拠点とした地域づくりの視点】』は学校の視点であろうか。 (ア)～(ウ)に限らず、全ての視点は『教育の場としての学校の機能を向上させるため(学校教育改善のため)』という目的をもっと強く出すべきではないか。視点が目的となっているような印象を受ける。

#### (2) 「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3) 「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	(ア) P6(2)への追加事項 (イ) P6(3)への追加事項
「意見	(ア) 前記1ページと関連するが、「新しい公共」型学校は学校運営協議会の趣旨(地域合意の上での学校経営)で行いたい。 (イ) 省庁間の連携(国交省の街づくり、厚労省の福祉等)について記述して欲しい。

## 『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

教育委員会名:嬉野市教育委員会

## 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある個所	
ご意見	特にありません。

## 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある個所	3ページの①成果の5つ目の『・』
ご意見	地域住民が学校と関わることで、自身の生涯学習、生きがいづくりにつながるとともに、 <u>郷土を愛する心の育成を図り</u> 、地域のコミュニケーションの活性化に貢献している。

ご意見のある個所	3ページの②課題の1つ目の『・』
ご意見	学校側は課題を抱え込み地域との連携を重視する意識が薄い一方、保護者や地域の側も子どもの問題は学校に任せてしまうなど、学校と保護者・地域の意識に距離感があることが指摘されるため、 <u>当事者間の意識改革及び活性化</u> が必要。

ご意見のある個所	4ページの②課題の4つ目の『・』
ご意見	地域の学校運営に対する参画意識を引き出し、学校課題を共有しながら学校と地域( <u>保護者</u> )が一体となった解決を進めるための校長の <u>マネジメント力</u> の向上が必要。

ご意見のある個所	4ページの②課題の8つ目の『・』
ご意見	地域ぐるみの取組が長期的に行われるために、小学校と中学校との連携した取組、さらには <u>幼・保との連携した取組</u> が必要。

## 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

## (1) 「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある個所	
ご意見	特にありません。

## (2) 「新しい公共」型学校の基本的な要素

## (3) 「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある個所	
ご意見	特にありません。

## 「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見

※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名： 熊本県玉名市教育委員会

### 1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	1ページにあるねらいの前に考える点がある
ご意見	<p>1ページに6項目の意見が述べられています。確かに○の上記3つの提起のために下記3つの提起に対し賛同します。しかし、現在、コミュニティスクールを実践している学校が抱える問題点は上記○3点を追求する姿勢はありますが、子どもたちや保護者とのコミュニケーションが取れずに、崩壊しようとする学級さえあります。</p> <p>まずは下記○3点を構築して、上記○3点の前に学校内のマネージメントの確立も考慮すべきではないでしょうか。</p>

### 2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	<p>玉名市の中学校に新しい型で実行したい提案を2月に行いたいと存じます。アドバイスをお願いいたします。</p>

### 3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

#### (1) 「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	5ページ(1)の視点①
ご意見	<p>視点の「ねらい」にメンタル面でのサポート体制、健常者と障がい者の協働支援も含めることも組み入れたい。</p>

#### (2) 「新しい公共」型学校の基本的な要素

#### (3) 「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	計画
ご意見	<p>当市では放課後子ども教室と首長部局の子育て支援課が対応します『学童保育』との関係で問題を抱えています。</p> <p>これも「部署や組織が違う」と言っても対象は子どもであり、小規模地域では協議と整理を行わなければなりません。これも課題と整理に組み入れることはできないのでしょうか。</p>



「『新しい公共』型学校の創造について(たたき台)」に対するご意見  
 ※ ご意見のある場合のみご提出ください

教育委員会名:氷川町(組合)教育委員会

1. 「新しい公共」型学校のねらい(1ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	参加される皆さんは充分承知の事と思いますが、平成18年度に成立し、公布・施行されている「新しい教育基本法」の目標・理念・ねらい等々について、共通認識を持って「新しい公共」型学校の創造を討議すべきと思います。

2. 地域と連携した学校づくりの現状と課題(2～4ページ)

ご意見のある箇所	
ご意見	平成12年に「学校評議員等」を制度化しているのに、何故平成16年に「学校運営協議会」を制度化しなけりばならなかつたのか? 「過去を振り返る大事さ」を考えてみたい。

3. 「新しい公共」型学校の在り方(5, 6ページ)

(1) 「新しい公共」型学校の理念

ご意見のある箇所	
ご意見	

(2) 「新しい公共」型学校の基本的な要素

(3) 「新しい公共」型学校の創造と展開に向けた計画のイメージ

ご意見のある箇所	
ご意見	